

新潟県

公民館だより

12

December 2021

No.816

TOPICS

下越地区公民館関係役員等研修会兼 下越地区社会教育研究集会開催

令和3年10月20日(水)に令和3年度下越地区公民館関係役員等研修会兼下越地区社会教育研究集会が10月2日にオープンしたばかりの五泉市交流拠点複合施設のラポルテ五泉で開催されました。参加者は会場・オンラインでの参加でしたが、100名が参加されました。

開会式

- (1) 開会のあいさつ…下越地区公民館連絡協議会長 市橋秀紀
- (2) 祝辞…新潟県教育庁下越教育事務所長 相澤祐助様
- (3) 歓迎のあいさつ…五泉市長 伊藤勝美様



市橋秀紀下公連会長
開会のあいさつ

講演会

演題：「子どもの未来応援プロジェクトを通して見えてきたこと～子ども誰一人取り残さず～」

講師：特定非営利活動法人ピーカブー 理事長 山下浩子様

。「子どもの未来応援プロジェクトとは」。
。フードドライブ＆フードギフトについて。
。SDGs「持続可能な開発目標」との関わり。
。見えてこない「子どもの貧困」の現状



特定非営利活動法人ピーカブー
理事長 山下浩子様



開会式



ラポルテ五泉

事例発表

。フードバンク第3世代として
。子ども達の未来に向けて、大人ができること

第1「人と人のつながりで生きがいをつくる」
新発田市公民館運営
審議会 副委員長
木滑二十子様

第2「絵手紙教室」～新規サークルの立ち上げ～
関川村教育委員会 教育課生涯学習班主幹 田村清洋様

第3「コロナ禍での公民館事業」おもいで風鈴をかざろう」
聖籠町教育委員会 社会教育課社会教育係主事 高橋 愛様

第4「子どもの能力を引き出す社会教育活動の在り方」
阿賀野市社会教育委員
委員長 小野 敏様

委員 佐渡市生涯学習計画の作成と
社会教育委員の関わりについて
佐渡市社会教育委員
委員長 村川登志郎様

第5「佐渡市生涯学習計画の作成と
社会教育委員の関わりについて」
佐渡市社会教育委員
委員長 村川登志郎様

委員 佐渡市生涯学習計画の作成と
社会教育委員の関わりについて
佐渡市社会教育委員
委員長 村川登志郎様

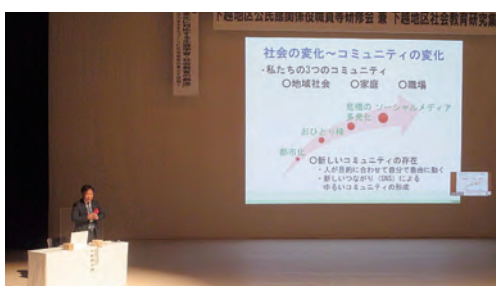
全体指導・閉会式

(1) 全体指導

新潟県教育庁下越教育事務所
社会教育課長 伊藤健文様

(2) 閉会のあいさつ

下越地区社会教育委員
連絡協議会長 鈴木一昭



全体指導



事例発表 阿賀野市

新潟県公民館連合会臨時理事会の開催

11月16日(火)に新潟

県公民館連合会臨時理事会が新潟市中央公民館で開催されました。



臨時理事会の様子



市橋会長あいさつ

県公連の仕事や役割についてアピールしていくことも大切であるという意見もだされました。

当日は、平成29年から取り組んでいる「県公連事業と負担金の見直しについて」、中越教育事務所社会教育課から作成していただいた「県公連に加入しているメリット」を資料として意見交換を行いました。

ここでは、資料「県公連に加入しているメリット」を使い、県公連の果たす役割やこれからの取り組みについてまとめたものを紹介します。(緑字は説明したこと、今後への意見をまとめたものです。)

今後の県公連の取り組み

県公連に加盟しているメリット

1 情報提供・情報収集

- 。国の機関、文科省からの重要施策や関連予算、支援などの情報提供
- 。国の方向(予算面やどのように力をいれるのか)
- 。各省庁への補助金などの情報が得られる。
- 。公民館への補助金や講座・事業への補助金などの情報が得られる。
- 。全国各地の公民館活動の先進的な事例などの情報が得られる。
- 。公民館の管理運営に役立つ情報や地域に必要とされる課題など広く把握できる。
- 。市町村の枠を超えたネットワーク化が可能
- 。国、文科省からの重要施策などの情報は、例年1月の全国セミナー(希望者参加)、6月の全公連定時総会(県公連会長、事務局参加)で具体的な説明があるので、ホームページや公民館だよりでお知らせする。また、通達などについては解説をつけるよう努める。
- 。公民館だより(年6回)の発行による情報の発信
- 。ホームページの更新を頻繁に行う。(令和3年度は、4月役員名簿、8月県大会を含め研修の案内)

2 研修会への参加

- 。全国公民館研究集会などへの参加
- 。各種研修会への参加
- 。県レベル、地域レベルの研修会への参加
- 。全国公民館連合会主催の研修会への参加
- 。全国公民館研究集会・関東甲信越静研究集会は県公連に加入していないと参加できない。
- 。全国公民館連合会主催の研修会(全国セミナー)は県公連の推薦で参加できる。

。県公民館大会や地区公民館連絡協議会の研修会は加入していない市町村には参加案内を送付していません。

3 各種表彰関係(職員への励みにつながる)

- 。国レベルの表彰(優良公民館表彰など)
- 。職員表彰の対象となる(功労者、優良職員、永年勤続職員など)
- 。公民館報コンクール、インターネット活用コンクールへエントリーできる。
- 。国レベルの表彰については県公連から加入市町村に依頼し全公連に推薦している。(功労者、優良職員、永年勤続職員は勤続15年以上 令和4年度候補者数名あり)
- 。優良公民館表彰は、県生涯学習推進課より全公連に推薦される。(全公連から優良公民館表彰される公民館の内、特に優れた5館が優秀公民館として表彰される。)

。県公連では県公民館大会において永年勤続者表彰として、勤続10年以上の臨時職員などを表彰している。(令和3年度は37名が受賞)

4 各種相談への対応

- 。各種質問への応対相談
- 。これまでの取り組みや事例、問題が発生した時

の全国的な対処方法など

※たとえば、公民館を利用する団体には、宗教関係、政治関係、営利関係など、たいへんデリケートな問題をもっているものも多く、それらの対処法、全国的な傾向、国の方針、先進的な事例、裁判になった時の判例などの蓄積がある。

。市町村の枠を超えた人的交流により、近隣の状況がわかる。

。研修会を企画するときの講師の紹介

。相談に対しては、事務局の資料・全公連や大学の教授から指導を受け回答している。今後もデーター蓄積に努めていく。

5 その他

。有益な資料や図書を紹介

県公連の今後の取り組みについて

。情報発信の仕方の工夫と周知（5月、2月の評議員会で理解を図る。令和2、3年度書面協議のため説明不足であった。）

。ホームページの更新の工夫

。市町村負担軽減について

- ・ 県補助金による各地区研修事業費の維持（令和3年度上越地区、中越地区、下越地区、新潟市へ研修補助 他全国セミナー参加補助）
- ・ 令和3年度より公民館だよりのデータ配信による購読料減額の対応
- ・ 市町村負担金の見直しについて協議継続

臨時理事会には、上・中・下越の各地区教育事務所の公民館担当副参事からもオブザーバー参加をいただきました。

臨時理事会でいただいた意見等を大切にして、今

後の事業計画立案や運営に努めていきたいと思っています。（広瀬）

全国公民館連合会からのお知らせ

◆第33回全国公民館セミナー開催

。テーマ：これからの公民館

ーアフターコロナの公民館ー

。会 期：令和4年1月26日（水）28日（金）

。会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター
。プログラム（予定）

【1日目】

(1) 講演

「誰しもが、特別な物語を生きるために 市民参加型映画と様々な学びのエッジ（境界線）から」
栗山宗大（脚本家）

(2) 施策説明

「文部科学省の公民館をめぐる動き」
根本幸枝（文部科学省総合教育政策局 社会教育振興総括官）

文部科学省の公民館施策に関わる最新の動向について、お話をいただきます。

【2日目】

(3) 講義

「公民館の空間をデザインする。」

(4) 講義

浅野平八（日本大学生産学部建築工学科元教授）
「アフターコロナ“ウイズコロナ”時代の社会教育」
小山竜司（神奈川大学法学部特任教授）

(5) シンポジウム

「これからの公民館運営を考える。」
〈コーディネーター〉

小山竜司（神奈川大学法学部特任教授）

〈ゲスト〉

宮尾 有（熊本市花園公民館主事）

野嶋京登（浜松市富塚協働センター主任）

熱田有紀（広島市中央公民館社会教育主事）

〈特別ゲスト〉

出野紀子（コミュニティ・デザイナー）

☆特別企画

「ナトコ映画を見るタベ」

〈案内〉

長澤成次（放送大学千葉学習センター所長）

【3日目】

(6) 講義

「ナトコ映画“公民館”がおもしろい！」

長澤成次（放送大学千葉学習センター所長）

(7) 講演

「公民館として公民館職員がイキイキ働くための作法」
堤 直規（キャリアコンサルタント、小金井市福祉保健部新型コロナウイルス感染症対策担当課長）

公民館職員は公務員。正職でも臨時でも嘱託であっても、住民にとっては公務員にはかわりありません。公務員としてこれからの働き方、イキイキと働くために必要なことなどについて、お話をうかがいます。

。参加方法

基本的には、県公連から推薦された方が参加します。

なお、今回のセミナーの講義は、編集したうえで、YouTubeにて動画配信をいたします。

参加できない方は、そちらで視聴ください。なお、配信日については後日全公連ホームページでお知らせします。



小千谷語り部の会 活動の歩み (小千谷市)

この会は、平成26年公民館主催で「語り部養成講座」に参加した方々と、29年の講座参加者



及び希望する方を対象に、現在16名の会員による活動です。昔話を聞いた

ら聞いておりました。ほっこりしたり、やすらひたりする事が出来たのです。こんなに素晴らしい文化を無くしてはいけないという思いが強くあります。そのための活動として、出前の語りを行っております。昨年からは、コロナ感染の脅威もあり活動が思うように出来ませんでした。それでも10月には第7回発表会、高齢者学級での語り、伝説の生れたお寺での語りと研修など行うことが出来ました。これからも地域の宝ものである、昔話と伝説、方言を後世に伝えて



いく役割を担うことが出来れば、幸いなことであります。
(代表 須田典子 記)

視点

「ピンチをチャンスに変える」

中越教育事務所社会教育課
副参事 太島 誠



今年度4月より、中越地区公民館連絡協議会(以下「中公連」)の幹事として

お手伝いをしております。

コロナ禍において公民館事業が中止、延期、縮小等が余儀なくされ、公民館職員をはじめ多くの関係者のご苦労は現在も続いています。しかし、地域の社会教育推進の拠点として「学びを止めない」という公民館関係者の思いは、さらに強くなったと感じております。

このような状況の中で、オンラインを活用した各種事業が盛んに進められるようになりまし

た。今年度の中公連事業でも、公民館職員研修会や主管した県公民館大会では、オンライン開催に挑戦しました。また、先日は第2回理事会・代議員会をオンライン併用で実施し、次年度以降も1回はオンラインを活用する方針であります。

今、大切にしたいのは、「ピンチをチャンスに変える」前向きな発想です。経費減額、人員削減等社会教育行政が縮小されている現状の中で、必要に迫ら

れ培った感染症対策の様々なノウハウや事業継続のための工夫や取組が、公民館活動の活性化につながるきっかけとなることを期待しているところです。

今後も各市町村公民館相互の連携を深め、公民館運営に関する研究協議が進展しますように、微力ながら尽力して参ります。



掲 示 板

令和3年度 新潟市公民館全職員研修会が終了しました

①目的：地域に出かけ、地域課題解決のための事業を実施し、地域住民と学び合うことにより、より地域に根ざした公民館を目指すための「公民館改革宣言」を着実に推進するために、公民館全職員を対象とした研修を実施する。

②対象：公民館全職員

③テーマ：地域に出かけ、地域をエンパワーメントできる職員になるために ～話の伝え方、引き出し方～

④講師：遠藤麻理さん
(フリーアナウンサー・ラジオパーソナリティー)

⑤受講方法：録画された動画を各自視聴する。

⑥受講期間：令和3年12月1日(水)から12月15日(木)
※この期間内で各自都合のよい日時に視聴しました。

実践記録シリーズ

障がい者理解とSDGs実践・
啓発講座
見附市中央公民館

はじめに

見附市では、市内6か所の各公民館職員が協働で企画・運営をする「チーム事業」を毎年行っています。本年度のチーム事業はA・Bの2班に分かれて、見附市の施策の動向を反映した講座に取り組んでいます。

A班では、デジタル技術を活用した便利な社会の実現に向けた市の施策の一環として、「ICT活用・実践講座」を企画。1週間連続して多彩な講座を開設し、スマホやアプリなどの使い方や注意点を専門家から学ぶ、題して「デジタルウィーク」を実施しました。

B班では、見附市が国から「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」に選定され、施策としてSDGsを実践する取り組みを推進していることから、「障がい者理解とSDGs実践・啓発講座」と題し、パラスポーツ等を通じて障がいを持つ方の目線を経験し、みんなで助け合える環境づくりについて考える講座を3つ実施します。

今回ご紹介するのは、B班の「障がい者理解とSDGs実践・啓発講座」より、市内小学生対象の「ブラインドサッカー体験会」の様子です。

体験会の様子

「ブラインドサッカー体験会」は、令和3年11月3日（祝・水）に開催し、小学1～5年生計10名が参加しました。

【的あて対決】

2チームに分かれて、どちらが多くコーンに当てられるか勝負！チームのみなで相談しながら、当てる方法を考えていました。



【ドリブル練習】

今ボールがどの位置にあるか、ドリブルしている子はどの方向を向いているかを的確に指示を出すことが重要です。



【体験会スタート】

ブラインドサッカーがどのような競技か解説してもらいました。

【白杖・点字ブロック体験】

当日はブラインドサッカーの体験だけでなく、視覚障がいを持つ方が使う「白杖」と「点字ブロック」の体験も行いました。



【シュート練習】

ゴール裏にコーラー（指示を出す人）を配置して本格的にシュート練習！力強いシュートを打つことができました。

【パス練習】

アイマスクをしながら転がってきたボールをキャッチ！後ろの子たちはどこにボールが転がっているかを指示しています。



本体験会を実施するきっかけの一つが、昨夏に開催された「東京2020パラリンピック」です。

今回のパラリンピックは東京開催ということで、多くの人が競技の様子をテレビ等でご覧になったと思います。パラスポーツに関心を持たれた方もいると思いますが、実際に競技を体験する環境や機会は少なく、時間の経過とともにその関心が徐々に薄れてしまっているのではないかと考えました。同時にそれは障がい者理解に対する関心を深める機会も失うことになると感じたことから、パラリンピックの競技の一つ「ブラインドサッカー」の体験会を企画したのです。

ブラインドサッカーは視覚障がい者用のスポーツで、アイマスクを装着して、ボールが転がった時に鳴る音を頼りに行う競技です。そのため周りで指示を出す人の声が不可欠です。初めこそ子どもたちの間で声を掛け合うのをためらってしまつ場面もありましたが、お互いの声が動作に必要であることを理解してからは、積極的に声を掛け合つてコミュニケーションをとる姿が随所に見受けられました。

体験終了後の振り返りの時間で、ある子が「今日は友達が生指示を出してくれたから、見えなくてもどこに行けばいいかわかったけど、もし普段の生活で目が見えずに外にいたらすごく危ないなと感じた」と感想を述べていました。今回の体験を通じて、子どもたちに視覚障がいを持つ方へのサポートとコミュニケーションの必要性について考えるきっかけを作ることができたものと感じています。

おわりに

この「障がい者理解とSDGs実践・啓発講座」では本体験会のほかに、「義肢・義足体験」と「車いすバスケットボール体験会」の2つの講座を1～2月に実施する予定です。

「誰一人取り残さない」社会づくり。このSDGsの基本理念を、今後も講座を通じて市民の方に伝えていけたらと思います。

素顔拝見



上越市教育委員会社会教育課
公民館係 宮澤 穂香さん

さんは幼少期から絵を描くことが好きで、県外の大学では芸術分野を専攻し入庁後も月1回は水彩画を描いているとのこと。公民館事業のチラシの作成にも、そのセンスを発揮し、各地区の公民館職員や同僚にも遠慮なくアドバイスをしています。

今年4月に新卒で入庁し、社会教育課公民館係に配属された、宮澤穂香さんを紹介します。宮澤

電話応対や会議など市民と接する場面でも親切丁寧な対応をしているほか、担当する公民館職員や同僚、上司と相談しながら公民館事業を企画・運営している姿は、新人職員とは思えないほどしっかりしていて、私の入庁時と比べても頼もしいです。

今後も持ち前の明るさと積極性を活かして多くの人と関わり、経験を積んで仕事に発揮していったほしいです。

〔上越市教育委員会 社会教育課 公民館係 佐藤和明記〕

インフォメーション

平山征夫回顧録

【価格】1,600円+税

◎問い合わせや購入については新潟県生涯学習協会まで

〒950-8602

新潟市中央区女池南3-1-2 新潟県立生涯学習センター内

TEL・FAX:
025-250-0121

Email:
syakyo56@feel.ocn.ne.jp



わが故郷・新潟に捧げる
渾身のエッセイ集

恵贈資料紹介

「文芸むらかみ」第12号が送付されて参りました。「文芸むらかみ」は随筆・短歌・俳句・川柳・詩・コント・特別寄稿で編集されています。また、連続投稿者（創刊号平成22年から第11号まで連続で投稿されている）34名の方々の紹介も掲載されていました。



編集後記

この1年間、コロナ禍の対応として会場参加とオンライン参加というハイブリッド型の研修や会議が多く実施されました。遠方の方もオンラインで参加できるといふよい点もありますが、お互い顔を合わせながらコミュニケーションを取っていくという本来の研修や会議も大切にしていきたいと感じました。

あと数日で新しい年を迎えます。みなさんよいお年をお迎えください。

（広瀬）

雪によって生ずる諸問題解決のため取り組んでいます

新潟県をはじめとする豪雪地帯は、豊富な水資源や良好な自然環境に恵まれ、食料やエネルギーの供給地として、我が国を支える重要な役割を担っております。

協議会会員18市町村は、緊密な連携を図りながら一致協力して特別豪雪地帯の住民生活の向上を図るため、取り組んでいます。

新潟県特別豪雪地帯市町村協議会

会長(妙高市長) 入 村 明 (会員18市町村)

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館(新潟県市長会内)

TEL 025(284)3434 FAX 025(285)3135